



Instagram 始めました



山田ひときの略歴

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得



- 議会運営委員会 委員長
 - 総務建設委員会 委員
 - 議会改革特別委員会 委員
 - 新庁舎建設特別委員会 副委員長
 - 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
- 奈良県後援会平群支部長

山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会
広報部
令和6年8月20日発行
〒636-0914
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
Tel.0745-45-4845 FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.ken.ne.jp

将来を見つめ 活力あるまちに!

路線バスの運行計画変更案が採られる

6月20日に公共交通対策特別委員会が開催され、北部地域を走る路線バスの運行について、土日便の運休や平日の減便を行いたいという、NCバスからの申し入れ内容の説明が初めて町側よりありました。

その結果、住民への説明会が開催される前に、もう少し詳しい状況や経過も含めて報告頂くため、7月16日、改めて、公共交通対策特別委員会が開催されました。

申し入れ内容としては、
*「平群駅〜元山上口駅」及び「東山駅〜緑ヶ丘北〜東山駅」までの系統を、朝夕のラッシュ帯のみの運行に変更するとともに、土曜日・日祝日の運行を取りやめる。
*利用旅客が僅少なため



「元山上口駅〜亀の井ホテル大和平群」系統を休止。
*近畿大学奈良病院線の旅客の僅少な時間帯を減便し、土曜日・日祝日の運行を取りやめる。
その他、検討事項として、*中間時間帯の旅客の足を確保するため「平群駅〜緑ヶ丘北〜東山駅」までの系統を新設。
という内容であり、実施予定日は令和7年4月1日

この事ですが、上記の様に変更しても尚、年間124万円の赤字見込であり、今後、その補填内容も含め協議しなければならぬとの報告がありました。

線バスと比較して便数も少なく、利便性も悪いというデメリットも理由のひとつとされ、運賃はワンコインの100円で運行されてきました。今後は、北部地域へのコミバス乗り入れや料金格差も含め、利便性低下を最小にするための路線バス運行経路の変更、コミバス委託料、路線バス運行の補助金他、コミバス、路線バスが連携して住民の不便さを少しでも解消できる方向を目指し、検討・協議・折衝していかねばならないという事を意見として申し述べました。

金格差も含め、利便性低下を最小にするための路線バス運行経路の変更、コミバス委託料、路線バス運行の補助金他、コミバス、路線バスが連携して住民の不便さを少しでも解消できる方向を目指し、検討・協議・折衝していかねばならないという事を意見として申し述べました。

学童保育運営が民間委託へ



令和6年7月17日、議員全員協議会が開催され、今後の考え方として、学童保育を持続・安定的に運営する上で保育内容の充実や指導員の確保、さらに配慮を必要とする児童への対応などを踏まえ、業務委託すること、指導員の安定的な人材確保、また指導員の研修強化等を図り、安全安心な学童保育を運営する事を目的に、検討の結果、令和7年4月より、公設民営となる民間企業への委託業務としたいという提案がありました。

平群町の学童保育は、約50年前に近隣町に先駆け公設公営で事業が開始されて以来、これまでたくさんの方々の指導員の方々のたゆまぬ努力のおかげで大きな問題もなく運営され、他

自治体に誇れる平群町の大きな魅力のひとつとなっていました。

しかし、時代の移り変わりと共に、近年、学童保育指導員の確保に大変苦労されるという状況が続き、学童保育指導員研修(放課後児童支援員認定資格研修)を受講していない町職員が代替指導員とならなければならぬ事も多く、昨年では延89人もの対応。職員の通常業務への負担も大変大きくなっていったようです。

なお、予測される経費は概算で令和7年予算として町直営で継続すれば町負担約500万円(補助金含む)、業務委託とすれば約5200万円程度の負担予測で、おやつ等を含む保護者負担は変わらないとの事です。

しかし、出来れば、これまで同様、これからも公設公営で継続頂きたいという思いもありますが、委託運営にあたっては、学童保育指導員配置が単に事務的な対応になれば、気配り・思いやり不足等による質の低下や、内部での問題発生への心配もあるため、そのような問題が生じない様、対応頂きたいという事を指摘し、お願い致しました。

令和6年6月議会



一般質問 (要旨)

平群町総合文化センターの利用形態について

平群町総合文化センターは、令和2年4月11日、コロナ禍の様々な規制を余儀なくされている中、開館式典が行われて以来早くも4年が経過し、既存の中央公民館以上に、にぎわいと活気あふれた施設、幅広い住民の方々に親しまれている施設となっております。

理由のひとつとして、建物外部では、憩い・心の安らぎという観点からポランテアの方々によるバラの花等の植樹、手入れなども行っており、どんぐり広場では、にぎわい・活気という観点から、住民主導によるマルシェ等、色々な催しの企画、開催等も行われています。



また、建物内部では憩いの場として自動販売機の設置による飲食コーナーの開設他、本年4月から、祝祭日の休館日であっても100名以上での使用予約申し込みがあれば、くまがしホールの使用が可能にされています。

①平日・土日別の貸部屋及びくまがしホールの稼働率は？

②どんぐり広場は申込手続きを行えば無料だが使用状況は？

③祝祭日の休館日の条件付きくまがしホール開放の利用状況は？

④現在の貸部屋の利用時間割は9時～21時までの12時間を、3分割／1日、4時間／1単位として利用貸出しされているが、6分割／1日、2時間／1単位として何故、貸

出しされないのでしょうか？

⑤総合スポーツセンターは年末年始及び月曜日のみの休館日となっているが、何故、文化センターは年末年始及び水曜日と祝祭日が休館日になっているのでしょうか？祝祭日の開館も実施すべきと思うが？

①会議室等の稼働率は平日49・3%、土日49・9%。ホールは平日57・5%、土日62・9%。

②どんぐり広場は町のイベントも含め年36回の利用実績。

③元旦を除いて年間15日の

全祝日の内、町の利用も含め6月現在、年8回の利用予定。

④2時間単位について、くまがしホール以外の貸部屋については利用者の意見も聞きながら検討したい。

⑤文化センターが祝祭日は休館日となっている明確な理由は、わからない。試行的祝祭日の開館状況を踏まえ、運営審議会等でも協議頂き、すぐには行かないが検討して行きたい。

新庁舎建設計画について

大規模災害発生時は防災拠点として機能を果たす事が確実に出来る庁舎を建設することは、本町の最重要課題として長年の懸案事項でした。しかし財政面で厳しい状況がつづく中、学校等の公共施設改修への財政投資がより必要であった為、容易に進める事が出来なかったのが現状です。

しかし、10年以内に建設に着手する事を目標として(条件付き)用地先行取得債により6年前の平成30年、理由付けの良し悪しは別として、平群町西土地区画整理事業の最終のためという理由もあり、庁舎建設用地として文化センター一敷地と一体に15000㎡分の土地を12万6635円／㎡、41万8000円／坪の1億8995万2千円で取得。

6年経過した本年3月、当初予算により新庁舎建設に向



文化センターは、開館後4年が経過し、住民にとってはこれまで以上に親しまれる施設として定着しつつある施設です、ただ、くまがしホールについては、出入口はホール前方部分の南北方向の2か所だけで、舞台は高低差がなく、舞台前下が客席は危険が伴う事もある、ホールそのものが、若干使いづらい、使い勝手が悪いという問題を感じるところがあります。

一方、どんぐり広場は様々な催しや憩いの場として盛況であり、多くの住民の方々に親しまれるスペースとなっているようです。

庁舎そのものの配列、配置は内部でも順次協議を重ねられると思いますが、くまがしホールのサブ施設としても屋内的要素をもったイベント広場的スペースの確保が必要不可欠と考えるがいかがお考えでしょうか？

新庁舎の建設予定地は、いくつかの課題があり、具体的に位置決定までには至っておらず、総合文化センター街区のどこかで確保できないか検討をすすめている。「屋内的要素をもったイベント広場的スペース」については法的規制など基本計画策定の中で、参考にさせて頂きたい。

質問

再質問

町長答弁

録画配信のQRコード



山田仁樹の一般質問